



2026年4月28日

各 位

会 社 名 Hm c o mm株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司  
(コード：265A、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学  
(TEL. 03-6550-9830)

(訂正)「株式会社コラボテクノの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」の一部訂正について

2026年4月28日付にて公表いたしました「株式会社コラボテクノの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」の記載事項に訂正すべき箇所がございましたので、下記の通り訂正させていただきます。訂正箇所には下線を付しております。なお、訂正後のお知らせについては、2ページ目以降をご参照ください。

## 記

### 訂正箇所：表題

#### 【訂正前】

株式会社コラボテクノの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

#### 【訂正後】

コラボテクノ株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

### 訂正箇所：本文

#### 【訂正前】

当社は、2026年4月28日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社コラボテクノ（以下、「コラボテクノ社」）の株式を取得し、子会社化すること（以下、「本件」）について決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 【訂正後】

当社は、2026年4月28日開催の取締役会において、以下のとおり、コラボテクノ株式会社（以下、「コラボテクノ社」）の株式を取得し、子会社化すること（以下、「本件」）について決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 訂正箇所：「3. 異動する子会社の概要」（1）名称、（6）設立年月日

・名称

#### 【訂正前】

株式会社コラボテクノ

#### 【訂正後】

コラボテクノ株式会社

・設立年月日

#### 【訂正前】

2016年4月

#### 【訂正後】

2016年4月5日



2026年4月28日

各位

会社名 Hmcomm株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司  
(コード:265A、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学  
(TEL. 03-6550-9830)

## コラボテクノ株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2026年4月28日開催の取締役会において、以下のとおり、コラボテクノ株式会社（以下、「コラボテクノ社」）の株式を取得し、子会社化すること（以下、「本件」）について決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 株式取得の理由

当社は、「音×AI」をコアとしたAIプロダクトの開発・提供を通じ、企業の事業変革（トランスフォーメーション）を、実効性のある成果へと導いてまいりました。当社は成長戦略上、M&Aを「第2の成長エンジン」と位置付け、バリューチェーンの垂直統合を推進しております。これまでに「戦略策定（第1号案件、注1）」および「DXデザイン（第2号案件、注2）」の機能を獲得してまいりました。

本件はこれに続く第3号案件であり、新たに「エンジニアリング（AIプロダクト実装）」機能を獲得することで、近年グローバルの先進AI企業において注目される「FDE（Forward Deployed Engineer）モデル」の確立を目指すものです。

FDEモデルとは、エンジニアを顧客の業務現場（Forward）に配置し、課題の特定から実装・運用改善までを一気通貫で完結させる、AI時代の新たな価値提供モデルです。コラボテクノ社の高度なエンジニアリングリソースと、当社の「音×AI」技術および既存顧客基盤を融合させることにより、業務現場に密着した実装力を飛躍的に拡大し、実効性のあるAIプロダクトを最短距離で社会実装してまいります。

（注1）2025年2月28日付「株式会社IPパートナーズからの一部事業譲受に関するお知らせ」

（注2）2025年8月15日付「ファンタラクティブ株式会社の事業譲受に関するお知らせ」

### 2. 子会社化によるシナジーおよび事業構造の進化

本件により、当社グループは以下の事業進化を推進してまいります。

#### （1）AI BPaaS（AI-powered Business Process as a Service）の本格展開

確立したFDE体制（戦略・デザイン・実装）を基盤に、コールセンター、カスタマーサポート、営業支援、バックオフィス等の業務を「AIによる実行」を前提として受託する「AI BPaaS」モデルを展開いたします。これは、従来の労働集約型BPOとは一線を画す、テクノロジー主導の業務完結型サービスです。

#### （2）垂直統合によるAIモダナイゼーションの推進

音声ログおよび業務データを活用し、業務の可視化からAIによる自動化までを現場密着で実行することで、既存業務・基幹システムの高度化（AIモダナイゼーション）を最短距離で達成いたします。

#### （3）リカーリング収益モデルの拡大

自社AIプロダクトの導入スピードを最大化し、ライセンス収入および高付加価値サービスの提供を通じて、継続課金型収益（リカーリング収益）の比率を高め、中長期的な収益基盤の強化と企業価値の向上を図ります。

### 3. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	コラボテクノ株式会社			
(2) 所 在 地	東京都中央区銀座六丁目 6 番 1 号 銀座風月堂ビル 5 階			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 吉田 光哉			
(4) 事 業 内 容	Web システム開発、システムエンジニアリングサービス			
(5) 資 本 金	10,000 千円			
(6) 設 立 年 月 日	2016 年 4 月 5 日			
(7) 大株主及び持株比率	吉田 光哉 255 株 (51%) 株式会社シグマ・インターナショナル 245 株 (49%)			
(8) 当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
	純 資 産	45,510 千円	48,829 千円	54,486 千円
	1 株 当 たり 純 資 産	91,020 円	97,658 円	108,972 円
	総 資 産	250,841 千円	263,103 千円	271,168 千円
	売 上 高	806,626 千円	799,395 千円	854,226 千円
	営 業 利 益	4,332 千円	931 千円	3,290 千円
	経 常 利 益	6,047 千円	4,125 千円	7,041 千円
	当 期 純 利 益	4,938 千円	3,319 千円	5,656 千円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	9,876 円	6,638 円	11,312 円
	1 株 当 たり 配 当 金	-	-	-

### 4. 契約の相手方の概要

(1) 氏 名	吉田 光哉
(2) 住 所	神奈川県川崎市
(3) 当 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

(1) 名 称	株式会社シグマ・インターナショナル		
(2) 所 在 地	東京都中央区日本橋蛸殻町 1 丁目 39 番 5 号水天宮北辰ビル 3 階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 軍司 穂 代表取締役社長 竹内 研二		
(4) 事 業 内 容	ソフトウェアの設計および開発、パッケージソフトウェアの開発および販売、インターネットコンテンツの制作、ハードウェア機器販売、商用 WEB サイトコンサルティング		
(5) 資 本 金	7,000 万円		
(6) 設 立 年 月 日	1988 年 12 月 15 日		
(7) 当 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

※契約の相手方である株式会社シグマ・インターナショナルの大株主及び持ち株比率、財政状態及び経営成績

については、先方要請により公表を控えさせていただきます。

5. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権所有割合: 0%)
(2) 取得株式数	450株
(3) 取得価額	普通株式 135百万円 アドバイザー費用等 (概算額) 25百万円 合計 (概算額) 160百万円
(4) 異動後の所有株式数	450株 (議決権所有割合: 90%)

6. 今後の日程

(1) 取締役会決議日	2026年4月28日
(2) 契約締結日	2026年4月28日
(3) 株式譲渡実行日	2026年5月11日 (予定)

7. 今後の見通し

本件株式取得により、コラボテクノ社は当社の連結子会社となる予定です。本件が当連結会計年度の業績に与える影響については現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。なお、本件は当社の「垂直統合モデル」における「実装 (エンジニアリング)」機能を担う極めて重要なステップであり、中長期的に当社の収益基盤の拡大および企業価値の向上に大きく資するものと考えております。

以上